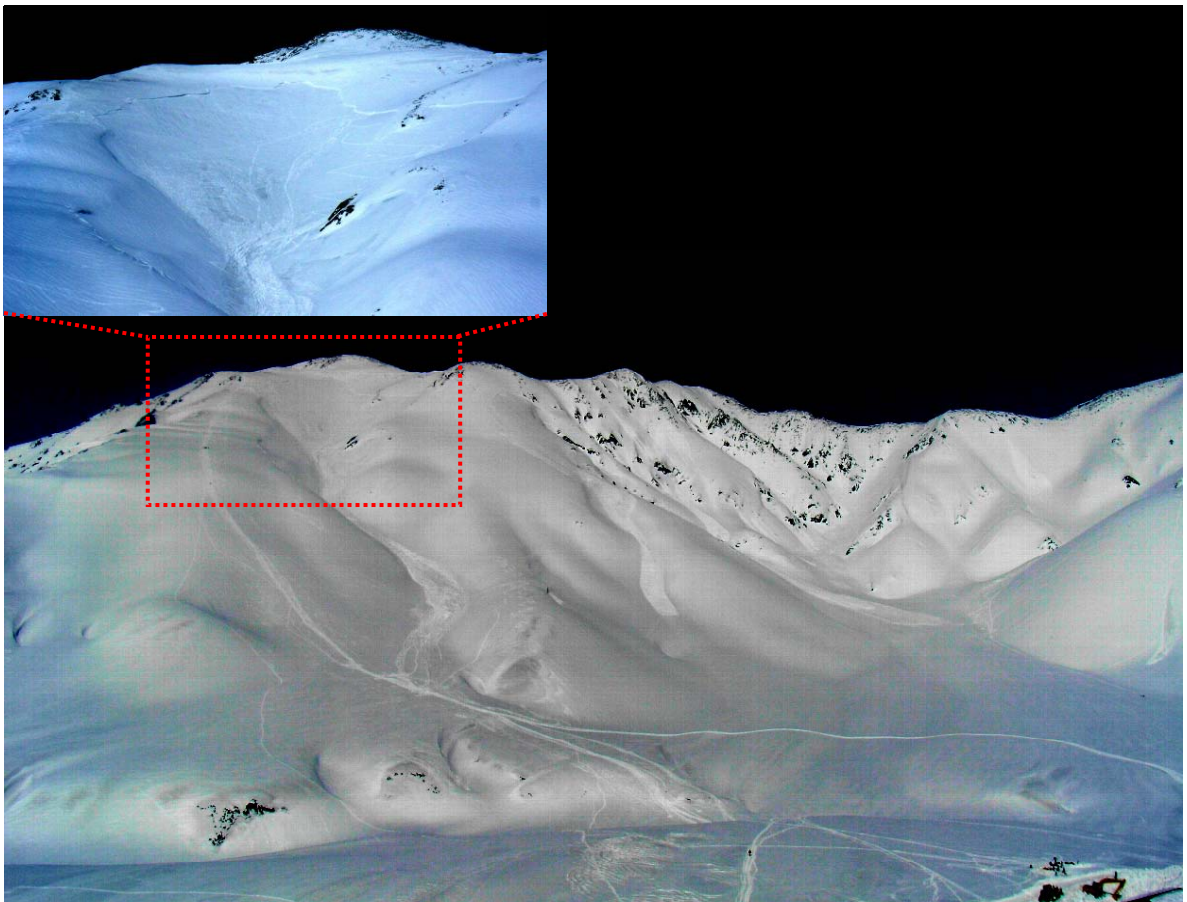


Letter No. 39

雪崩分科会レター



2007年4月18日、富山県立山雷鳥沢で発生した面発生乾雪表層雪崩。山スキーヤー等1名が死亡、2名が負傷した。発生区の明瞭な破断面、雷鳥沢以外の多数の雪崩が確認された。

(2007年4月19日 上石勲会員撮影)

2007年9月4日発行

(社) 日本雪氷学会 雪崩分科会

目 次

■ 2007年度雪崩分科会例会のご案内	1
■ 2006年度事業報告	2
■ 2007年度事業計画（案）	2
■ 2006年度会計報告	3
■ 2007年度予算（案）	3
■ 2006年度監査報告	4
■ 第11回 雪崩安全セミナー（雪崩教育シンポジウム）のご案内	5
■ 第18回 雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ	6
■ 分科会費納入のお願い	7
■ 雪崩分科会役員	8

雪崩分科会レターのメール配信をご利用下さい

経費（郵送料）の節減と編集・配送作業の軽減のため、35号より郵送による配信に代わって、電子メールによる雪崩分科会レターの配信を始めました。

メール配信をご希望の方は、編集担当の今西（ni1494@docon.jp）まで、メールにてご連絡下さい。また、途中でメールアドレスが変更になった場合にはできるだけ早くご連絡下さい。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集担当 今西伸行

■ 2007年度雪崩分科会例会のご案内

2007年度日本雪氷学会全国大会（富山大会）の会期中に、下記のとおり雪崩分科会例会（総会、研究会）を開催いたしますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時：2007年9月27日（木） 17：00～19：00
2. 場所：富山大学五福キャンパス教養教育棟219室（富山市五福3190）
<http://www.seppyo.org/~taikai07/toyamap-c2.jpg>
3. 総会（17：00～17：40）
 - ・2006年度事業報告
 - ・2007年度事業計画（案）
 - ・2006年度会計報告
 - ・2007年度予算（案）
 - ・その他
4. 研究会（17：40～19：00）
 - 講演会 ―黒部峡谷の雪崩観測35年―
 - 講演者：川田邦夫氏（富山大学極東地域研究センター）
 - 題 目：黒部峡谷のホウ雪崩研究の始まり
 - 講演者：伊藤陽一氏（土木研究所雪崩・地すべり研究センター）
 - 題 目：最近の黒部雪崩観測 ―主な結果と観測風景―
 - 助成企画研究の報告
 - 講演者：伊藤陽一氏（土木研究所雪崩・地すべり研究センター）
 - 題 目：多量の降雪にともなう雪崩発生時の積雪連続観測
 - 講演者：町田 敬氏（長岡技術科学大学大学院）
 - 題 目：ロシアの Khibini 山域鉦山における雪崩

- 雪崩分科会会員以外の方のご参加も大歓迎です。
- 例会終了後、懇親会を予定しております。場所は例会時にお知らせします。

■ 2006年度事業報告

1. 総会・研究会の開催（11月16日 秋田市 講演：3件 参加者：41名）
2. 第10回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー開催（9月3日 京都市 参加者：32名）
3. 雪氷学会主催「第17回雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力（12月18～19日 札幌市 申込者：42名）
4. ニュースレターNo.37, 38の刊行
5. 企画研究に対する助成（1件）
助成対象者：町田 敬 会員（長岡技術科学大学大学院）
研究題目：地震による雪崩発生危険度評価手法の開発 ～発破振動による雪崩発生の観測～
6. ホームページの更新と管理
7. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理
8. 「雪氷」の雪崩特集号発行に向けた編集協力
9. 雪崩研修会のテキスト改訂に向けた編集協力

■ 2007年度事業計画（案）

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. ニュースレター刊行（2回）
4. 第11回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催
5. 第18回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
6. 分科会会員に対する研究協力
7. 「雪氷」の雪崩特集号発行に対する協力
8. ホームページの充実と活用
9. メーリングリストの活用

■ 2006年度会計報告

(収入の部)

科 目	2006年度決算
1. 基本財産運用収入	-
2. 会費収入	51,000
3. 事業収入	42,000
4. 助成金	-
5. 内部移管勘定	144,297
6. 資産勘定からの繰入	300,000
7. 雑収入	22
当期収入合計 a	537,319
前期繰越収支差額	285,464
収入合計 b	822,783

(支出の部)

科 目	2006年度決算
1. 事業支出	221,664
2. 管理費	151,885
3. 内部移管勘定	300,000
4. 資産勘定への繰入	0
5. 予備費	-
当期支出合計 c	673,549
当期収支差額 a - c	-136,230
次期繰越収支差額 b - c	149,234

■ 2007年度予算(案)

(収入の部)

科 目	2007年度予算
1. 基本財産運用収入	-
2. 会費収入	65,000
3. 事業収入	50,000
4. 助成金	-
5. 内部移管勘定	100,000
6. 資産勘定からの繰入	250,000
7. 雑収入	1,000
当期収入合計 a	466,000
前期繰越収支差額	138,584
収入合計 b	604,584

(支出の部)

科 目	2007年度予算
1. 事業支出	360,000
2. 管理費	209,000
3. 内部移管勘定	0
4. 資産勘定への繰入	0
5. 予備費	-
当期支出合計 c	569,000
当期収支差額 a - c	-103,000
次期繰越収支差額 b - c	35,584

【注意】繰越金額が決算と予算(案)で異なるのは、予算(案)を雪氷学会事務局に提出する日程の関係で、予算(案)を決算前に組む必要があり、繰越額を見込みで計上するためです。雪氷学会事務局へ提出した予算(案)と整合性を取るためとご理解下さい。

■ 2006年度監査報告

雪崩分科会監査報告書

社団法人 日本雪氷学会
雪崩分科会会長 西村浩一 殿

2007年4月12日

社団法人 日本雪氷学会
雪崩分科会監事 川田 邦夫



2006年4月1日から2007年3月31日までの2006年度における雪崩分科会会計及び業務の監査を、次のとおり報告する。

1. 監査の方法

- (1) 会計監査について、会費の徴収等会計業務の実態について確認した。
- (2) 業務監査について、2006年度雪氷学会全国大会時に行われた雪崩分科会総会・研究会（11月16日開催）に出席し、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 会計監査

雪崩分科会では主として、分科会員の会費及び事業による収入があり、分科会活動は会の主旨に基づいて、その活動が行われている。これに伴う資産も若干存在する。収支計算書及び現金出納簿はきちんと整理されており、財産目録による資産も明確に示されており、会計全般は適切に処理されていると判断する。

(2) 事業監査

雪崩分科会の活動は主に雪氷学会全国大会時に開催される、総会・研究会で報告される。各種講習会の開催や関連講習会への協力、ニューズレターの発行、企画研究補助等、分科会の趣旨に沿って、適切に活動が行われていると判断する。

■ 第 11 回雪崩安全セミナー（雪崩教育シンポジウム）のご案内

2007 年度日本雪氷学会全国大会（富山大会）の会期中に、下記のとおり第 11 回雪崩安全セミナー「雪崩教育の現在と未来 ～より良い雪崩教育を目指して～」を開催いたします。本セミナーの趣旨は、全国各地で雪崩講習会の開催に尽力されている関係者にお集まりいただき、今後の雪崩教育のあり方について理解を深めようというものです。多数の雪崩分科会会員のご参加をお待ちしています。

記

1. 日時：2007 年 9 月 25 日（火） 15:00～17:30
2. 場所：富山大学五福キャンパス教養教育棟 3 番教室（富山市五福 3190）

<http://www.seppyo.org/~taikai07/toyomap-c2.jpg>

3. セミナーの概要

○基調講演

講演者：若林隆三（アルプス雪崩研究所所長）

題 目：広がる雪崩道 – 雪崩教育三十余年の歩みから –

○雪崩講習会の紹介

日本勤労者山岳連盟

特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク

雪崩事故防止研究会

長野県山岳総合センター

北海道雪崩研究会

社団法人日本山岳ガイド協会

○パネルディスカッション

○質疑応答

◆主催◆

社団法人日本雪氷学会雪崩分科会

◆共催◆

日本雪工学会雪崩防災委員会

◆後援◆

・日本勤労者山岳連盟・特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク・雪崩事故防止研究会・長野県山岳総合センター・北海道雪崩研究会・社団法人日本山岳ガイド協会

◆問い合わせ先◆

日本雪氷学会雪崩分科会事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 新潟大学災害復興科学センター 河島克久

Tel:025-262-7056 Fax:025-262-7050 E-mail : kawasima@cc.niigata-u.ac.jp

■ 第 18 回 雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ

第 18 回雪崩対策の基礎技術研修会を下記の要領で実施いたします。詳細については、巻末に添付されているパンフレット、又は雪崩分科会ホームページ等をご覧ください。

(雪崩分科会ホームページ：http://www.argos-net.co.jp/nadare_bunkakai/)

1. 開催月日

平成 20 年 1 月 17 日 (木) ～18 日 (金)

2. 開催場所

湯沢カルチャーセンター (新潟県湯沢町) + 周辺山地
(新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 628-1 Tel: 025-748-1511)

3. プログラム (予定)

【1 月 17 日】

9:15～9:45 受付 (湯沢カルチャーセンター)

9:45～17:00 開校式・室内研修・現地研修

「降積雪と雪崩の基礎知識」(秋田谷英次：北の生活館館長・元北大低温研所長)

「積雪観測法」(和泉薫：新潟大学災害復興科学センター教授)

「雪崩埋雪者の搜索救助」(中山建生：日本勤労者山岳連盟雪崩講習会指導者)

「積雪観測法実習」(和泉薫、秋田谷英次)

「雪崩搜索、救助法実習」(中山建生、現地講師)

18:00～ 交流会

【1 月 18 日】

9:00～15:30 室内研修・現地研修

「雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態」(町田誠：町田建設(株)代表取締役)

「雪崩予測」(山口悟：(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター研究員)

「雪崩対策工の計画・設計」(上石勲：(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター研究員)

「雪崩対策工の現地検討」(町田誠)

15:00～15:30 修了試験・閉校式・修了証授与 (湯沢カルチャーセンター)

◆問い合わせ先◆

第 18 回 雪崩対策の基礎技術研修会 事務局

町田建設株式会社 担当 田村・松井

Tel: 025-782-1181 Fax: 025-782-2241 E-mail: machiken@sepia.ocn.ne.jp

■ 分科会費納入のお願い

今年度の雪崩分科会費を郵便振替で納入願います。金額は年額 1,000 円です。お手数ですが、郵便局の窓口において用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、払い込み願います（氏名と何年度分の会費かをお書き下さい）。前年度までの会費に未納のある方は、あわせて納入願います。口座番号等は以下の通りです。

郵便局 口座番号: 00670-0-26949、口座名称: 日本雪氷学会雪崩分科会

ご不明な点がありましたら会計担当幹事の山口悟までお問い合わせ下さい。連絡先は次の通りです。

郵便宛先：〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山 187-16

防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

Tel : 0258-35-7522 Fax : 0258-35-0020 E-mail : yamasan@bosai.go.jp

■ 雪崩分科会役員

会 長	西村 浩一	新潟大学 理学部
副会長	和泉 薫	新潟大学 災害復興科学センター
副会長	上石 勲	独立行政法人 防災科学技術研究所 雪氷防災センター
監 事	川田 邦夫	富山大学 極東地域研究センター
幹事長	河島 克久	新潟大学 災害復興科学センター
幹 事 (会計)	小杉 健二	独立行政法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 新庄支所
幹 事 (会計/メーリングリスト)	山口 悟	独立行政法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
幹 事 (企画)	秋山 一弥	国土交通省 国土技術政策総合研究所
幹 事 (企画)	飯田 馨	立山カルデラ砂防博物館
幹 事 (企画)	中山 建生	日本勤労者山岳連盟
幹 事 (企画)	町田 誠	町田建設株式会社
幹 事 (企画)	松沢 勝	独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所
幹 事 (編集)	今西 伸行	株式会社ドーコン 防災保全部
幹 事 (編集)	尾関 俊浩	北海道教育大学 岩見沢校
幹 事 (研究会)	竹内 由香里	独立行政法人 森林総合研究所 十日町試験地
幹 事 (ホームページ)	池田 慎二	株式会社アルゴス 雪氷技術センター
顧 問	遠藤 八十一	国際雪形研究会
顧 問	若林 隆三	アルプス雪崩研究所

雪崩分科会ホームページ http://www.argos-net.co.jp/nadare_bunkakai/

雪崩分科会事務局 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050
 新潟大学災害復興科学センター内 河島 克久
 Tel : 025-262-7056 Fax : 025-262-7050
 E-mail : kawasima@cc.niigata-u.ac.jp

編集担当 〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4-1
 株式会社ドーコン 防災保全部 今西 伸行
 Tel : 011-801-1576 FAX : 011-801-1577
 E-mail : ni1494@docon.jp

〈関係部署へコピー・FAX・ご回覧お願いいたします〉

第18回

雪崩対策の基礎技術研修会

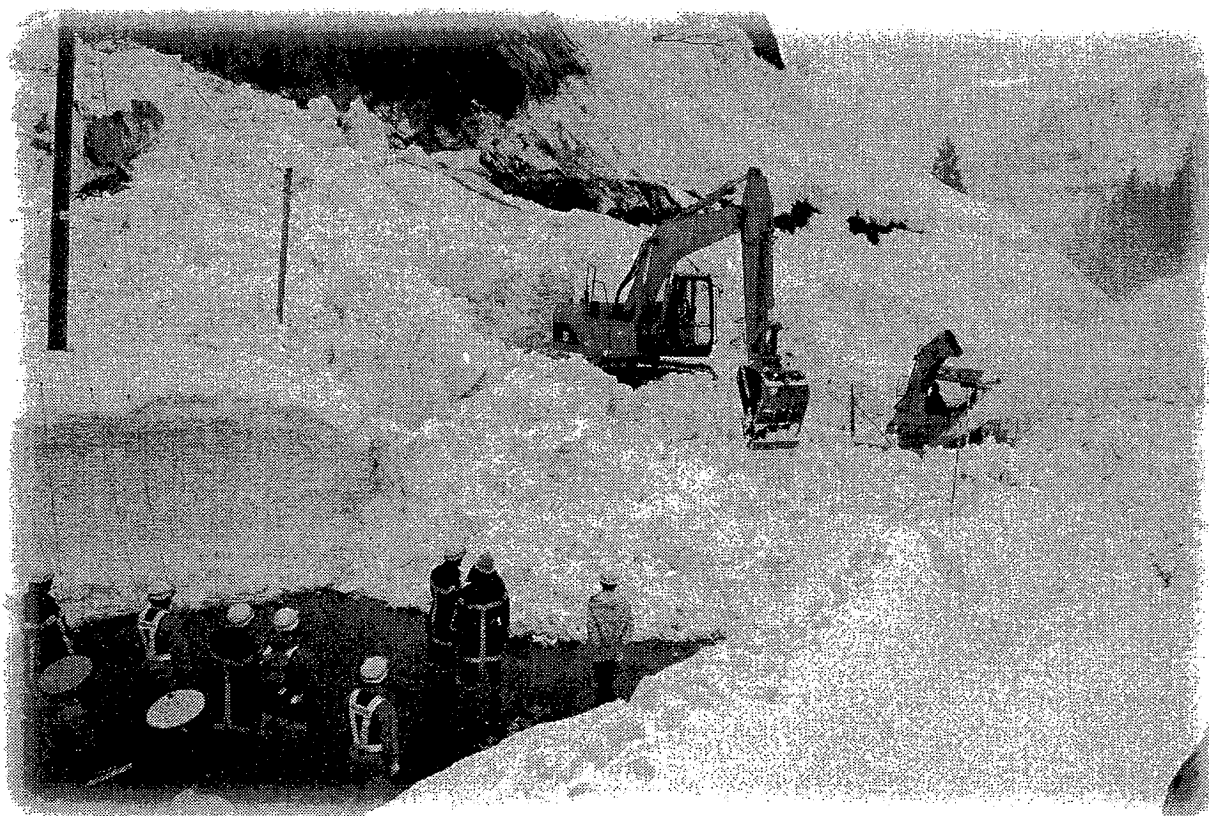
ご案内

主催：社団法人日本雪氷学会

*開催月日 平成20年1月17日(木)～1月18日(金)

*開催場所 湯沢カルチャーセンター(新潟県湯沢町)+周辺山地

新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立628-1 TEL 025-784-1511



連絡先

雪崩対策の基礎技術研修会 事務局

TEL：025-782-1181 FAX：025-782-2241 町田建設(株) 担当 田村、松井

(社)日本雪氷学会では

「第18回 雪崩対策の基礎技術研修会」

を企画いたしました。

雪崩対策の前線でご活躍のスキー場パトロール、山岳救助担当者、雪崩対策に関わるコンサルタント、諸官庁の皆様方の要望にお応えして、雪崩のプロフェッショナルが雪崩の基礎から対策への応用・雪崩捜索救助法まで最新の技術を密着指導いたします。雪崩の恐ろしさとその対処の方法を学んでいくには、厳冬期に行うことがよりよいと考え、1月の開催といたしました。

研修会プログラム

1 / 17 (木)	9:15~9:45 9:45~10:00 10:00~11:00 11:00~12:00	室内研修 集合・受け付け(湯沢カルチャーセンター) 開校式 降積雪と雪崩の基礎知識.....秋田谷英次 積雪観測法.....和泉 薫
	13:00~14:00 14:30~17:00 18:00~	現地研修 雪崩埋雪者の捜索救助.....中山建生 積雪観測法実習.....和泉 薫、秋田谷英次 雪崩捜索、救助法実習(雪崩ビーコンなど使用).....中山建生、現地講師 <交流会>
1 / 18 (金)	9:00~10:00 10:00~11:00 11:00~12:00	室内研修 雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態.....町田 誠 雪崩予測.....山口 悟 雪崩対策工の計画・設計.....上石 勲
	12:45~15:00 15:00~15:30	現地研修 雪崩対策工の現地検討.....町田 誠 修了試験、閉校式、修了証授与 (湯沢カルチャーセンター)

(講師が変更になる場合があります。)

講 師

秋田谷英次：北の生活館館長／元北海道大学低温科学研究所所長 理学博士 <雪氷学>
和泉 薫：新潟大学災害復興科学センター教授 理学博士 <雪氷学>
上石 勲：(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター研究員 学術博士・技術士 <雪崩調査>
中山建生：日本勤労者山岳連盟雪崩講習会指導者 <捜索救助>
町田 誠：町田建設(株)代表取締役 <雪崩管理・防雪工>
山口 悟：(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター研究員 博士(地球環境科学) <雪氷学>

申し込み要領

(1) 参加申し込み

研修会参加申し込みは下記の項目についてご記入の上、研修会事務局宛までFAX
またはeメールにて送信ください。

申し込み・連絡先

雪崩対策の基礎技術研修会 事務局

TEL：025-782-1181 FAX：025-782-2241

e-mail：machiken@sepia.ocn.ne.jp

町田建設(株) 新潟県南魚沼市島新田374 担当 田村、松井

(2) 受講料1名につき

(社)日本雪氷学会 { **会員 25,000円** (昼食、現地見学バス、テキスト代含)
非会員 30,000円 (昼食、現地見学バス、テキスト代含)

下記申し込みをされた方は、下記銀行口座に12月20日までにご入金ください。
(振込手数料は、各自ご負担願います。)

《振込先》北越銀行六日町支店 普通口座番号 472209

(社)日本雪氷学会 雪崩対策の基礎技術研修会

----- キリトリセン -----

第18回 雪崩対策の基礎技術研修会参加申込書

氏名(フリガナ)	所属	役職	性別	年齢	区分	交流会
			男・女		会員 非会員	参加 不参加
			男・女		会員 非会員	参加 不参加
			男・女		会員 非会員	参加 不参加

連絡先：住所

TEL

FAX

e-mail

*ご記入いただきました個人情報、本研修会の参加登録にのみ利用させていただきます。

1) (社)日本雪氷学会個人会員及び、特別・賛助会員の職員2名まで、会員価格で受講できます。

2) 1月17日の夜に交流会を予定しています。会費は当日徴収します。

申込先 e-mail:machiken@sepia.ocn.ne.jp FAX：025-782-2241

宿泊、交通等の申し込み

宿泊、現地までの交通等については下記旅行会社にご連絡ください。
(雪崩対策の基礎技術研修会事務局では宿泊、交通の予約等は扱いません)

宿泊・交通等の申込み先

○共立観光(株)六日町支店
〒949-6625 新潟県南魚沼市六日町357-1
TEL 025-772-2771
FAX 025-772-7664

○担 当 八木久子
半沢絵美
関 昭

※1月1日、1月4日は閉店いたします。

※12月31日、1月2日・3日は短縮時間で営業いたします。

研修会受講の際に御準備するもの

研修会は1月の厳冬期に行われます。2日目は屋外での研修を予定しておりますので、**防寒着、長靴、手袋、帽子等の装備**をご用意ください。